

避難所について共に考えよう！

令和6年度被災者支援ボランティア講座

“協働減災塾～避難所について考えよう～開催

3月8日、標記の講座を開催し、さまざまな職種の方35名の参加がありました。この講座は令和3年度より行っており、支援者同士の『顔の見える関係づくり』を目的とした学び、協議をする場となっています。

今年度は初めて“避難所”をテーマに開催し、常時医療ケアを必要とする川野 陽子氏(あっとほうむぶれいす)や、実際に能登へ行き発災直後の避難所の実情に詳しい松永 鎌矢氏(NOP 法人リエラ)から実践報告や講話をしていただき、多様な職種の方々同士で、自分が被災した場合に困りそうなこと、避難所支援でできそうなことなどを想定し、意見交換をしました。日頃なかなかつながらない人同士のつながる機会になりました。



あっとほうむぶれいす 川野 陽子氏による実践報告では、R5 年度に行った避難訓練や、その後実際の避難を行う中での課題等についてお話いただきました

NPO 法人リエラ 代表理事の松永 鎌矢氏からは、能登半島地震の発災直後の状況や避難所の様子や課題についてお話いただきました



建築や商工会、医療、福祉、地域活動をされている方々、防災士など、様々な職種で生活の場となる「避難所」について意見を交わしました。